

1 部

学習サポート

4 ～ 5 月の各種申込み締切一覧

各種の申込みや提出の締切で主として4～5月上旬のものを一覧にいたしました。通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

なお、震災のため下記締切を過ぎての申込み可能なものは受付します(ただし科目修了試験のように試験事務が間に合わないため4/25までのみしか対応できないものもあります)。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
5月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	4月21日(木)
春期スクーリングⅢ (4/29～5/15)	申込みハガキ	4月14日(木)
春期スクーリングⅣ (5/20～6/13)	申込みハガキ	4月27日(木)
オンデマンド・スクーリング1	申込みメール	4月20日(木)正午
オンデマンド・スクーリング2	申込みメール	4月20日(木)正午
特講・社会福祉学5・6 特講・福祉心理学8 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	5月10日(火)
単位互換協定にもとづく 認定単位スクーリング 資料請求締切	p. 61～66参照	4月18日(月)
単位互換協定にもとづく 認定単位スクーリング 出願締切	p. 61～66参照	4月28日(木)

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。) 	4月12日(火) 4月21日(木) 4月28日(木) 5月10日(火)

※「スクーリング受講者専用別レポート」は、受講後1カ月以内

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前) スクーリング受講申込み	5/3・4受講希望者 →4月11日(月) 5/14～6/25受講希望者 →4月20日(水)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「★実習指導B」 p. 138～142 「★演習C」 p. 126～133 「◆実習指導」 p. 59～64
◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) スクーリング受講申込み	6～9月受講希望者 →5月9日(月)	
★社会福祉援助技術実習指導B-1・ ★社会福祉援助技術演習C-1 スクーリング受講申込み	5/3・4受講希望者 →4月11日(月) 5/14～29受講希望者 →4月20日(水)	
★社会福祉援助技術実習指導B-2 スクーリング受講申込み	5月2日(月)	
★社会福祉援助技術実習指導B 課題1 (実習計画案)	5/3受講希望者 →4月11日(月) 5/14受講希望者 →4月22日(金) 5/21受講希望者 →4月28日(木)	
◆社会福祉援助技術現場実習指導 課題1-① (実習計画案)	5/28受講希望者 →5月6日(金) 6/25受講希望者 →6月3日(金)	

	締 切 日	備 考
★社会福祉援助技術演習C スクーリング受講申込み・ 1 単位めレポート (実習免除者・来年度以降科目等 履修生として実習受講希望者)	5 / 4 受講希望者 → 4 月11日(月) 5 /15~29受講希望者 → 4 月20日(水)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「★演習C」 p. 126~133 「◆実習指導」 p. 59~64
★社会福祉援助技術演習C 1 単位めレポート (23年度実習受講者)	4 月受講希望者 → 5 月 2 日(月) 5 月受講希望者 → 5 月 9 日(月)	
◆社会福祉援助技術現場実習指導 課題 3 - ① (実習事後レポート)	6 月受講希望者 → 5 月30日(月)	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
精神保健福祉援助演習 1 単位めレポート (スクーリング事前課題)	5～7月受講希望者 → 4 月15日(金)※	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 75~82
精神保健福祉援助実習(事前指導) スクーリング受講申込み	5～7月受講希望者 → 4 月20日(水)	
精神保健福祉援助実習(事後指導) スクーリング受講申込み	7～9月受講希望者 → 5 月 9 日(月)	『レポート課題集 2010(3・4年次)』 p. 83~97から日程 変更
精神保健福祉援助実習 課題 1 (実習計画案)	5 /22受講希望者 → 5 月 2 日(月) 6 / 5 受講希望者 → 5 月16日(月) 7 / 3 受講希望者 → 6 月13日(月)	

※被災された方の状況に応じて添削日数等の可能な範囲で個別に配慮させていただきます。対象となる方は別途精保実習係までご相談ください。

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習の事前事後指導 1単位めレポート	3/26・27受講者 →4月18日(月)消 印有効	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 203～206
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 1単位めレポート	※6/6以前実習 開始者は、4月 6日(水)消印有効	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 283～288
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書・抗体検査 のコピー(・個人調査票のコ ピー)提出	6月実習開始者 →4月15日(金)	※事前指導受講済者のみ 対象 ※抗体検査は数値だけの ものではなく、医師に よる抗体を有する旨の 文言が入ったものでは ないこと。

■その他

●卒業研究申込締切(3月卒業希望者) 5月5日(木)

●休学届提出期限(4月生) 4月30日(土)

●通信制大学院

通信制大学院生にかかわる各種締切は、別紙「通信制大学院コーナー」
をご覧ください。

卒業する皆さんへ

通信教育部部長 寺下 明

はじめに、3月11日に発生した東北関東大地震には驚くばかりで、言葉もございません。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地においては、一日も早い復興を心より祈念申し上げます。

東北福祉大学通信教育部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの多くは、本来の仕事をしながら、あるいは、家庭で子育てや家族の介護をしながら、通信教育の課程で学ばれました。そして、厳しい条件にもかかわらず、初志を貫き、卒業を達成された皆さんには、そのたゆみない努力と研鑽に対して、心より敬服いたします。

残念ながら、このたびは、地震による影響で、卒業式を挙行することができなくなりました。卒業式は、大学で学位記を受け取る儀式や人生の一区切りとしての式典というより、皆さんが大学通信教育を通して得た成果を讃えるためのものであると思います。そして、卒業によって得られた本当の成果は、目に見、手に取ることのできない自らの知性と精神にあり、それは形あるものよりもはるかに大きなものであることを確信しております。

本学に入学してから卒業まで、おそらく、短かったような長かったような、両方の思いを、皆さんは持っているのではないかと思います。いずれにしても、この間に皆さんは、大きく変わったのではないのでしょうか。通信教育は、もちろん自学自習が基本ですが、スクーリングでの講義、演習、実験、卒業研究などを通して、多くのことを学んだはずです。

たとえば、スクーリングの楽しみの一つに演習がありました。演習は、ゼミナールといいますが、ラテン語で、Seminは「苗」を表し、arは

「場所」を意味する言葉に由来しています。種が発芽しやすいように準備された「苗床」という意味です。そんなめぐまれた土壌で、最先端の知に触れ、先生方の指導や友人たちとの議論を通して、生きた現実から本質をつかみ、問題解決に向けて考え抜く能力や姿勢を身につけたことと思います。

ところで、福岡伸一さんの『生物と無生物のあいだ』という本によりますと「秩序は守られるために絶え間なく壊されなければならない」というクールなフレーズが登場します。キーワードは、「動的平衡」です。私たちの身体が新陳代謝することで生き続けるのと同様、私たちの思考も「秩序」を維持するためには、絶えず新しい情報や知識を取り込み、動的に、dynamicに変化しながら「一定」とすると同時に、成長もするというのです。

複雑で新しい課題が山積するこれからの時代を生きていくのは、たいへんだと思います。過去の常識を疑え、過去の成功体験を捨てなさいとは、人口に膾炙（かいしゃ）されてきたところです。これからは、従来のやり方や、過去の常識に囚われることなく、自分自身でしっかりと考え、方向を見定めて、新しい課題にチャレンジしていかなければなりません。その際、自分一人でできることは限られています。様々な人々と協力して、異なる視点からも問題を解決していくことを大切にしてほしいと思います。

全く見えない聞こえない人で、世界で初めて常勤の大学教授になった、福島智さんがいます。福島さんは、9歳で失明、18歳で聴覚を失いました。絶望の淵から、「指点字」という方法を考案し、他者とのコミュニケーションを取り戻し、社会とつながってきました。大学進学に迷った時、担任の先生は「日本の盲ろう者で大学に進学した人はこれまでにいないそうだけど、前例がないなら君がチャレンジして前例になればいいじゃないか」と励ましたそうです（『生きるって人とつながることだ』素朴社）。

福島さんが全盲ろう者になって、その体験から学んだことは、どんな困難な状況にあっても、可能性がゼロになることはない、チャレンジし、現状を変革していく可能性は必ずある、ということです。そして、チャレンジとは、社会的な名誉やステータスを得ることだけがその目標なのではなく、自らがしっかりと生きていくこと、そして、自分と他者が共に生きていく営みのなかに、本当に困難な部分があり、その営みこそが最も重要なチャレンジであるとしています。

福島さんは、自分のことを障害者というよりは、「光と音のない世界で生きる宇宙人」のようだとよく語っています。このことは、「見えなくて聞こえない」という宇宙空間のような状態から、指先のコミュニケーションによって「地球」に戻ってきた、まるで映画『E.T.』のような存在だと、自分のことを半分冗談半分本気で思っていることによるらしい。そんな福島さんの夢は、宇宙人に会うことだそうです。宇宙飛行士の山崎直子さんは、帰還後「宇宙はワンダフル」だと言いました。まさに、宇宙、私たちの未来は、未知（wonder）にあふれて（full）います。

本学通信教育部で学んだことは、今後皆さんが人生を生き抜くうえで、大きな糧となるはずです。何事にも多いにチャレンジしてみてください。皆さんのご健闘をお祈りしています。卒業おめでとうございます。